

## かんたん設置ガイド

プリンターの設置を安全に行なうための注意事項は、裏面の「安全にお使いいただくために」に記載されています。P.6  
 設置を始める前によくお読みください。

**最初にお読みください。**  
 ご使用前に必ず本書をお読みください。  
 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

**Check!**  
 開梱時の梱包材は保管する  
 購入時のパッケージ(箱)やパッケージ内の梱包材は、移転や移設、修理などのプリンター輸送時に必要になります。

### Step 1 設置準備

同梱品がそろっているか確認する

不足しているものや破損しているものがあつたときは、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- プリンター**  
 次のものが取り付けられています。  
 ● 給紙カセット  
 (用紙サイズ表示板を含む)  
 ● トナーカートリッジ  
 ・装着されているトナーカートリッジは、そのままご使用になれます。  
 ● 回収トナー容器
- CD-ROM「User Software」**  
 次のものが収められています。  
 ● プリンタードライバー  
 ● NetSpot Device Installer  
 ● FontGallery  
 ● プリンタードライバー インストールガイド
- 取扱説明書CD-ROM**  
 次のものが収められています。  
 ● e-マニュアル  
 ● コントロールROM (CR-HIY) 用マニュアル  
 設置する際は、e-マニュアルもあわせてお読みください

- 電源コード**
- アース線**
- 用紙サイズシール**
- 保証登録のお願い**
- ポケットガイド**
- かんたん設置ガイド(本書)**

LANケーブルやUSBケーブルは付属していません。  
 USBケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。



### 設置場所を決める

#### 設置条件

- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンターの質量に耐えられる十分な強度のある場所

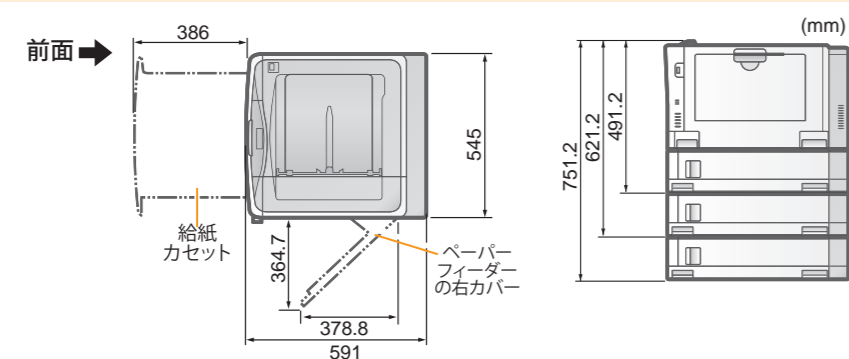
#### 温度/湿度条件

- 温度範囲: 10~30 °C
- 湿度範囲: 20~80 %RH (相対湿度・結露しないこと)

#### 電源条件

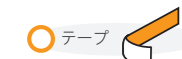
- AC100 V ± 10 %, 15 A以上
- 50/60 Hz ± 2 Hz

以下の各部の寸法を参考にして、設置スペースを確保してください。



ペーパーフィーダー(3台)装着状態

#### テープはすべて取り外す



以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがプリンターに貼られているときは、すべて取り外してください  
 ※ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

### Step 2 梱包材を取り外して、設置場所に運ぶ

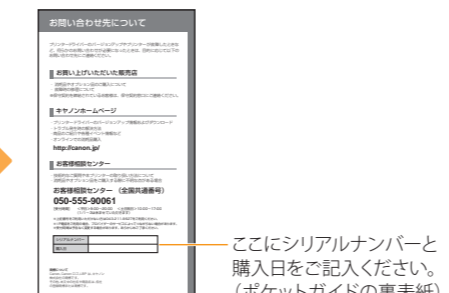
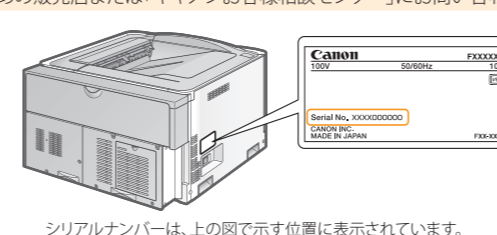
**Check!**  
 梱包材はすべて取り外しましたか?  
 ○ テープ ○ 部材 ×1 ※ 左記の梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

オレンジ色のテープがすべて取り外されていることを確認する

1 給紙カセットを止まるまで引き出す  
 2 部材を矢印の方向に回す  
 3 取り外す

※ 確認が終わったら、カバーと手差しトレイをすべて閉めてください。

同梱のポケットガイドの裏表紙に、シリアルナンバーと購入日をご記入ください。  
 お買い求めの販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせの際に必要です。



#### ペーパーフィーダーを取り付けて使用するとき

プリンターを設置場所に運ぶ前にペーパーフィーダーを設置してください。

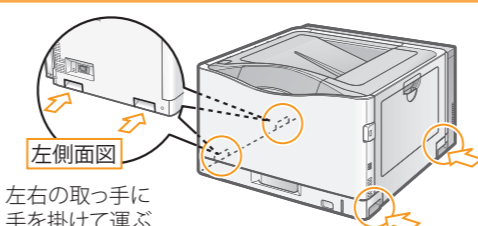
#### ペーパーフィーダーを取り付ける P.4

次のオプションの取り付け方法については、e-マニュアルをご覧ください。(LBP9660Ciのみ)  
 ・ROM  
 ・SDカード

#### ペーパーフィーダーを取り付けないで使用する時

プリンターを設置場所に運んでください。

\*プリンターは、約 44.8 kgあります。  
 3人以上で持ち上げてください。



### Step 3 給紙カセットに用紙をセットする

A4サイズの用紙をご用意ください  
 Step5で、動作の確認のためステータスプリントを印刷します。ステータスプリントはA4サイズ用に設定されていますので、ここでは、A4サイズの用紙をセットしてください。

- 1 手前のロック解除レバーをつまむ
- 2 この部分をセットする用紙サイズに合わせる
- 3 図の位置のロック解除レバーをつまむ
- 4 この部分をセットする用紙サイズに合わせる
- 5 用紙を用紙ガイドに合わせてセットする
- 6 用紙をツメの下に入れる
- 7 用紙サイズ表示板を取り出す
- 8 用紙サイズシールを貼る
- 9 セットする
- 10 給紙カセットをセットする

用紙ガイドを正しい位置にセットする  
 側面の用紙ガイドおよび後端の用紙ガイドを用紙に突き当ててください。

**Check!**  
 積載制限マークを超えないようにセットしてください。

ここまで

P.3に続く

### Step 4 電源コードとアース線を接続する

- 1 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止める
- 2 電源コードをしっかりと差し込む
- 3 接続
- 4 差し込む

**Check!**  
 アース線端子は図のような向きで本体に取り付けてください。

### Step 5 プリンターの動作を確認する

- 1 開ける
- 2 押す
- 3 オンラインになっていることを確認する  
 オンライン状態になっていない場合、[オンライン]キーを押します。
- 4 [ユーティリティ]キーを押す
- 5 [▲]、[▼]で「共通ステータスプリント」を選択してOKを押す
- 6 [▼]で「はい」を選択してOKを押すとステータスプリントが印刷されます。

しばらくするとディスプレイに「印刷できます。」と表示され、印刷可能な状態になります。

【ユーティリティ】/[◀]キー 【ジョブ】/[▶]キー  
 [オンライン]キー [OK]キー [リセット]/[▼]キー

### Step 6 プリンターとコンピューターを接続する

プリンターとコンピューターを接続する

**USB接続の場合**

- 1 OFF
- 2 開ける
- 3 押す
- 4 Bタイプ(四角い)側を接続
- 5 Aタイプ(平たい)側を接続

操作パネルの主電源ランプが消灯していることを確認する  
 ここではまだプリンターの電源は入れないでください。電源は、プリンタードライバーのインストール中に入れます。

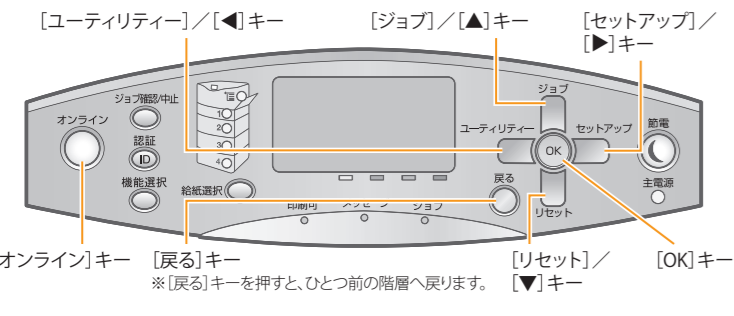
**LAN接続の場合**

- 1 LANケーブルを接続する
- 2 LNKランプが点灯していることを確認する

続いて、プリンタードライバーのインストールを行います。Step 7 P.4へ

続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。P.4へ

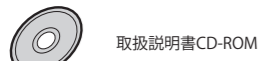
続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。



ここではIPアドレスを自動(DHCP)で設定する手順で説明しています。

- [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「ネットワーク」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「TCP/IP設定」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「IPv4設定」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「IPモード」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「自動」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「プロトコル」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「DHCPによるアドレス設定」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「オン」を選択し、[OK]を押す
- プリンターの電源を入れなおす  
プリンターの再起動後に設定が有効になります。  
※本製品が自動的にIPアドレスを設定します。約2分お待ちください。

IPアドレスの手動設定や、その他のプロトコルの設定(DNSやWINSなど)の設定手順は、本プリンターに付属の取扱説明書CD-ROMに収められているe-マニュアル(HTMLマニュアル)に記載しております。



## Step 7 プリンタードライバーをインストールする

### LIPS LXとLIPS4プリンタードライバーの違い

#### LIPS LX

印刷データの処理をコンピューターとプリンターで負分散することによって、従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリーでの動作が可能です。

#### LIPS4 (LBP9660Ciのみ)

ドライバー上でのフォームオーバーレイ機能、TrueTypeフォントの置き換え機能など、従来のドライバーに実装されていた機能を使用することが可能です。

### USB接続でインストールするときは

USB接続の場合、インストールするプリンタードライバー(「LIPS LX」または「LIPS 4」)の種類と、操作パネルの「ページ記述言語(PnP)」の設定が異なると、プリンタードライバーを使用できません。プリンターの操作パネルで「ページ記述言語(PnP)」の設定を行ってください。

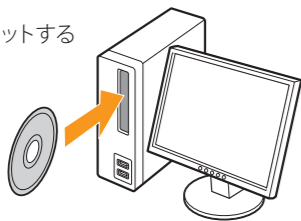
### 「ページ記述言語(PnP)」の設定方法

- [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「拡張機能」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で「ページ記述言語(PnP)」を選択し、[OK]を押す
- [▲]、[▼]で使用するプリンタードライバー(「LIPS LX」または「LIPS 4」)を選択し、[OK]を押す
- プリンターの電源を入れなおす  
プリンターの再起動後に設定が有効になります。

### 操作方法で不明な点があるとき

プリンタードライバーのインストール方法の詳細は、本プリンターに付属のUser Software CD-ROMに収められているプリンタードライバーインストールガイドに記載しております。

- コンピューターの電源を入れる
- 付属のUser Software CD-ROMをセットする  
セットアップ画面が表示されます。
- [インストール]をクリックする  
以降、画面の指示にしたがって操作してください。



### プリンターのセットアップが終了しました

ここまでの手順が終了すると、プリンターをお使いいただくことができます。

## Option ペーパーフィーダーを取り付ける

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置するとき

➔ P.5

ペーパーフィーダーをあとから設置するとき  
(プリンターをすでに使用しているとき)

- コンピューターの電源を切る
  - プリンターの電源を切り、接続されているケーブルやコードを取り外す
- USBケーブル\***
- LANケーブル\***
- 電源コード/アース線**
- 電源プラグを抜く
  - アース線を取り外す
  - プリンターから抜く
  - プリンターから取り外す
- \*接続の有無は、お使いの環境によって異なります。

テープはすべて取り外す



以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがペーパーフィーダーに貼られているときは、すべて取り外してください

※ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

- ペーパーフィーダーを箱から取り出す
- 止まるまで引き出す
- 取り外す
- 取り外す

- ここをつまんで取り外す
  - 給紙カセットをセットする
- Check!**
- 梱包材はすべて取り外しましたか?
- テープ
  - テープ付きの部材 ×1
  - 梱包材 ×1
- ※上記の梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。
- オレンジ色のテープがすべて取り外されていることを確認する
- ※確認が終わったら、給紙カセットをセットしてください。

- 設置場所に運ぶ  
\*2人以上で運びます。
  - 位置決めピンとコネクタを合わせて載せる
  - 位置決めピンとコネクタを合わせて載せる
  - ロックレバーを図の位置に合わせる
- ペーパーフィーダーを複数台取り付けるときは  
手順1~8を繰り返し、1台のみ取り付けの場合は手順9に進みます。
- プリンターを運ぶ  
\*プリンターは、約44.8kgあります。  
3人以上で持ち上げてください。

- 位置決めピンとコネクタを合わせて載せる
  - ロックレバーを図の位置に合わせる
  - ロックレバーを図の位置に合わせる
  - 給紙カセットを引き出す
  - 給紙カセットをセットする
- 取っ手に手を掛ける
- 左側面図
- 左側面図
- 左側の取っ手に手を掛けて運ぶ
- 給紙カセット内部
- ペーパーフィーダー同士も同様に固定してください。

続いて、次の手順にそって作業を進めます

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置したとき

- 用紙をセットする ➔ P.2  
プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパーフィーダーにも用紙をセットしてください。
- 電源コードとアース線を接続する ➔ P.3
- プリンターの動作を確認する ➔ P.3
- プリンタードライバーをインストールする ➔ P.4

ペーパーフィーダーをあとから設置したとき  
(プリンターをすでに使用しているとき)

- 用紙をセットする ➔ P.2  
プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパーフィーダーにも用紙をセットしてください。
- ケーブルやコードを接続する  
取り外したケーブルやコードを接続しなおしてください。

## 安全にお使いいただくために

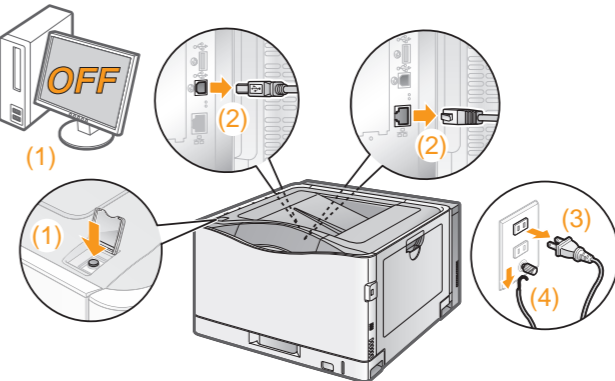
本書では設置と電源の警告や注意のみを記載しております。必ず本プリンターに付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている e-マニュアル (HTML マニュアル) で記載されている「安全にお使いいただくために」もあわせてお読みください。



### 設置について

#### 警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。
  - アクセサリなどの金属物
  - コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器
 これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。製品内部に入った場合は、直ちにプリンターとコンピューターの電源をオフにし(1)、インターフェイスケーブルを接続している場合は、インターフェイスケーブルを抜いてください(2)。そのあと、電源プラグを抜いて(3)、アース線を取り外し(4)、お買い求めの販売店にご連絡ください。



オプション品の取付け/取外しを行うときは、必ずプリンターの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンターに接続されているすべてのインターフェイスケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

#### 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファ、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口がふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - 雨や雪が降りかかるような場所
  - 水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 高温になる場所
  - 火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インターフェイスケーブルを接続する場合は、e-マニュアルの指示にしたがって正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- メインボードの取り扱いには注意してください。メインボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、e-マニュアルの指示にしたがって正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。

### マークについて

- 警告** 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
- 注意** 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

### 電源について

#### 警告

- 電源コードを傷つかけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 電源コードが引っ張られた状態にしないでください。電源プラグが緩んで接続が不完全になると発熱し、火災の原因になることがあります。
- 電源コードを踏みつけたり、ステイプルなどで固定したり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 電源コネクタが接続される製品の差込口にストレスが強いかかると、製品の内部で断線や接触不良が発生し、故障の原因になります。また、火災の原因になる場合もあります。以下のような取り扱いを避けてください。
  - 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
  - 電源コードに足を引っ掛ける
  - 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、製品の差込口に継続的なストレスがかかっている
  - 電源コネクタに強い衝撃を加える
- 付属の電源コード以外を使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
  - 電源コンセントのアース線端子
  - 接地工事(D種)が行われているアース線端子
  - アース線を接続してはいけないもの
    - 水道管… 配管の途中でプラスチックになっている場合があります。その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
    - ガス管… ガス爆発や火災の原因になります。
    - 電話線のアースや避雷針… 落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

#### 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

商標について  
本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。